

<p>●在宅療養の推進</p> <p>高齢者等が在宅で安心して療養できる体制を構築する。</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養希望者数の増加 在宅療養の実現が可能であると思う区民の増加 在宅看取り率の増加 	<p>【所管】</p> <p>地域医療課 高齢者支援課</p>
--------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

1 多職種連携強化

※ 【在宅】・・・在宅療養専門部会、【認知】・・・認知症専門部会

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①医療と介護の連携	事例検討会・交流会 4回/年 事例集の作成	<p>【実施回数】4回（4地区各1回）※第3回まで実施済み</p> <p>【参加者数】参加352名、傍聴69名 計421名（第3回まで計上）</p> <p>【参加職種内訳】ケアマネジャー 約36%、薬剤師 約15%、看護師 約10%、医師・歯科医師 約6%、介護福祉士・介護職員 3% 等</p> <p>【実施テーマ】「認知症の家族が前向きに介護できるためには?」、「自宅ときどき老健!老健を使いこなそう!」、「身寄りのない認知症患者の多職種による意思決定支援」</p> <p>【満足度】「非常に満足」「満足」の回答割合:第1回89%、第2回86%、第3回91%</p>	<p>・多職種連携に対する意識</p> <p>「多職種連携における自身の職種の役割の理解が深まった」 (第1回85%、第2回73%、第3回85%)</p> <p>「他職種の理解が深まった」 (第1回90%、第2回78%、第3回88%)</p>	<p>・参加者層の多様化</p> <p>・コーディネーターの多様化</p>	【在宅】 地域医療課
	認知症事例検討会 4回/年	<p>【実施回数】4回（4地区各1回）</p> <p>【参加者数】参加149名</p> <p>【参加職種内訳】ケアマネジャー65% 医療関係者8% 介護関係者10% その他・未記入17%</p> <p>【実施テーマ】「妄想、暴言」「運転免許返納」「受診拒否」「近隣トラブル」他</p> <p>【満足度】10点満点 第1回平均8.4点 第2回9.1点、第3回8.1点、第4回8.9点</p>	<p>・知識向上や多職種連携に役に立つ事例検討会であったか</p> <p>「とても役立つ」「役立つと思う」 (第1回93%、第2回96%、第3回94% 第4回96%)</p>	<p>・参加者層の多様化</p>	【認知症】 高齢者支援課
	多職種連携研修 1回/年	<p>【実施回数】1回（3月実施予定）</p> <p>【参加者数】</p> <p>【実施テーマ】</p>	<p>・多職種連携に対する意識</p>		【在宅】 地域医療課
②病院と在宅スタッフとの連携	訪問看護同行研修	<p>同行訪問（集計中）</p> <p>【実施病院数】5病院</p> <p>【参加者数】72名</p> <p>振返研修</p> <p>【実施病院数】3病院（予定）</p>	<p>・訪問看護業務に対する理解度</p>	<p>・手続きの簡素化</p>	【在宅】 地域医療課
	退院支援の課題抽出	<p>【モニタリングの実施】</p> <p>4地区ごとに1病院ずつを対象として実施</p> <p>【ガイドラインの作成】</p> <p>区内の回復期リハビリテーション病院、2機関を対象としてガイドラインを作成中</p>	<p>・モニタリング報告書の作成</p> <p>・回復期リハビリテーション病院のガイドラインを作成</p>	<p>・ガイドラインの周知</p> <p>・対象病院の拡大</p>	【在宅】 地域医療課
③情報共有	ICT推進事業補助金	<p>【申請事業所数】5件</p>	<p>・申請事業所数</p>	<p>・事業の周知啓発</p>	【在宅】 地域医療課
	医療・介護連携シートの活用	<p>地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所にて平成27年11月から30,000部配布中。</p> <p>【周知】区民（区報、窓口、講演会等啓発事業で周知）、区内医療機関、民生委員（見本・案内を配付）練馬区薬剤師会認知症研究会、事連協研修会</p>	<p>・連携における利用状況</p>	<p>・周知、利用促進</p> <p>・医療機関での確認等の推奨</p>	【認知】 高齢者支援課

2 サービス提供体制の充実

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①人材の確保・育成	ケアマネジャー向けの在宅療養に関する研修	地域カンファレンス ※練馬、光が丘、石神井、大泉の4圏域で実施 【参加者数】総計 261名 (内訳) 練馬: 98名、光が丘: 68名、石神井: 49名、大泉: 46名 地域カンファレンス全体報告会 【参加者数】173名 【満足度】 95% (研修の理解) 92% (仕事への活用)	・満足度 地域カンファレンス全体報告会 95%	・ケアマネジャーへの更なる事業 周知	【在宅】 高齢者支援課
	若年性認知症支援力向上研修	【実施回数】1回 【参加者数】20名 (ケアマネジャー10名 介護職等8名 サービス提供責任者2名) 【満足度】 90% (研修の理解、仕事への活用いずれも)	・満足度 90%	・介護人材育成研修センターと31 年度から3か年の計画作成	【認知】 高齢者支援課 練馬区介護人材 育成研修センター
②24時間体制・後方支援病床の確保	後方支援病床の確保	【利用者数】 延100件 (11月末現在)	・利用した在宅医の負担軽減度 医療・介護資源調査にてアンケート実施 認知度 79% 事業評価 (良いと思った割合) 87%	・更なる周知啓発	【在宅】 地域医療課
③相談・診療体制の充実	医療と介護の相談窓口	在宅療養に必要な医療と介護のコーディネートのための医療・介護連携推進員の配置 (H27～) 【医療・介護連携推進員】地域包括支援センター 25か所 【在宅医療・介護相談実績】 延8,263件 (11月末現在) 【退院カンファレンスへの参加実績】395件 (11月末現在)	・退院カンファレンスへの参加 395件 (11月末現在)	・窓口の周知 ・推進員の在宅療養相談・支援力 向上	【在宅・認知】 高齢者支援課
	認知症相談事業の充実	専門医等による訪問相談および医療・介護のコーディネートのための認知症地域支援推進員の配置 (H27～) 【認知症地域支援推進員】 地域包括支援センター 25か所 【認知症相談】 延5,500件 (11月末現在) 【認知症専門相談事業 (初期集中支援チーム) 協力医】 10名 【認知症専門相談実施】 4所×9回 【認知症専門相談件数】36回 81件 (12月末現在)	・医療や介護サービスにつながった件数 (11月末現在) 医療機関との連携 延579件 ケアマネジャーとの連携 延608件 介護サービス事業者との連携 延570件	・相談事業の事務局変更に伴う調整 ・今後の事業実施内容について医師との調整	【認知】 高齢者支援課
④地域資源情報の提供環境の充実	地域資源情報の構築	医療と介護の情報サイトの更新 【掲載情報】全種介護保険サービス事業所 (約950件) 病院・診療所 歯科診療所 薬局 地域包括支援センター (25件) 生活支援情報 (約480件) サービス付き高齢者住宅 (16件) } 東京都医療機関案内サービス (ひまわり) とリンク	・満足度 「介護事業者の規模や職員の配置状況、特色がわかってよい」 「使いこなせれば相当量の情報が得られる」 「検索が不便な点があるが、情報は網羅できている」 他の自治体からの問合せ多数 (利用法、公開の仕方等)	・周知、利用促進	【在宅・認知】 高齢者支援課 地域医療課

3 区民への啓発・家族への支援

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①区民への啓発	講演会の開催 (区内4地区対象): 4回)	【実施回数】4回(4地区各1回) 【総計】参加者413名、満足度87%、在宅療養希望者数238名/64%(無回答を除くと86%) 【参加者数】第1回:98名、第2回:84名、第3回:81名、第4回:150名 【満足度(参考になった)】第1回:89%、第2回:89%、第3回:84%、第4回87% 【在宅療養希望者数】第1回:63名/71%、第2回:47名/58%、第3回:52名/72%、第4回:76名/60%	・在宅療養希望者数 練馬区高齢者基礎調査 高齢者一般 25.3% 要介護高齢者 31.1% これから高齢期 30.0%	・ACPの普及、啓発 ・子世代への普及、啓発	【在宅】 地域医療課
	認知症講演会の開催 認知症フォーラム:1回/年 認知症地域講座:4回/年 若年性認知症講演会:1回/年 認知症の人の生活講座:2回/年	延参加者数 508名 認知症フォーラム 1回 【参加者数】80名 【満足度(良かった)】 88% 認知症地域講座 3回 【参加者数】306名 【理解度(わかりやすかった)】 92% 若年性認知症講演会 1回 【参加者数】40名 【理解度(わかりやすかった)】 97% 【認知症の人の地域生活】 生活講座にて地域密着型サービスを紹介 2回 【参加者数】82名 【理解度(参考になった)】91%	・認知症に対する理解度 ・認知症に対する理解度 ・若年認知症に対する理解度 ・認知症の人の地域生活に対する理解度	・参加者数の増	【認知】 高齢者支援課
	区民啓発ガイドブックの活用 ・在宅療養ガイドブック ・認知症ガイドブック	在宅療養ガイドブック 【発行部数】46,000部(27年10月～) ※改訂版8,000部内数 【配布先】(1)区立施設 (2)医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、病院 認知症ガイドブック 【発行部数】43,000部(28年3月～) ※改訂版10,000部内数 【配布先】(1)高齢者向けの区立施設 (2)医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、病院	・在宅療養に対する理解度 練馬区高齢者基礎調査 在宅療養が難しいと思う理由 「在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからない」 高齢者一般 22.4% 要介護高齢者 20.0% これから高齢期 12.4%	・配布場所の充実 ・改訂版の発行 10,000部	【在宅・認知】 地域医療課 高齢者支援課
②地域資源情報の提供環境の充実	地域資源情報の構築(再掲)	医療と介護の情報サイトの更新 【掲載情報】全種介護保険サービス事業所(約950件) 病院・診療所 } 東京都医療機関案内サービス(ひまわり)とリンク 歯科診療所 薬局 地域包括支援センター(25件) 生活支援情報(約480件) サービス付き高齢者住宅(16件)	・満足度 「介護事業者の規模や職員の配置状況、特色がわかってよい」 「使いこなせれば相当量の情報が得られる」 「検索が不便な点があるが、情報は網羅できている」 他の自治体からの問合せ多数(利用法、公開の仕方等)	・周知、利用促進	【在宅・認知】 高齢者支援課 地域医療課
③地域における支え合いの強化	認知症の人や介護家族への見守りの推進	【認知症サポーターの養成と活用】認知症サポーター養成 67回 2,107名 累計25,945名 ステップアップ講座参加者 2回 63名	・事業への認知症サポーターの参加 ステップアップ修了者中、区の見守り事業等への協力者 累計32名	・区事業等へのサポーターの活用	【認知】 高齢者支援課
④在宅生活支援の充実のための取組	介護なんでも電話相談	毎水曜日実施 35回 73件 【相談者の声】「(介護の悩みを)聞いてもらうことで整理ができる」(リピーター) 「(介護の悩みを)どこに相談すればよいかわからなかった。助かった」 「(介護の)苛立ちを治めることができた」	・満足度(相談者の声)	・周知、利用促進	【認知】 高齢者支援課
	介護家族の学習・交流会	3回 73名	・満足度(負担感軽減) ・家族会や地域包括支援センターの利用	・参加者数の増 ・家族会や認知症カフェの周知、利用促進	
	認知症の人の生活講座(再掲)	【認知症の人の地域生活】 生活講座にて地域密着型サービスを紹介 2回 【参加者数】82名 【理解度(参考になった)】91%	・認知症の人の地域生活に対する理解度 91%	・参加者数の増 ・地域密着型サービスの周知	

4 在宅療養の現状の経年的把握

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①在宅療養資源に対する課題の把握	医療・介護資源調査の実施 ・関係者へのアンケート 1回/3年 (在宅療養推進事業計画に併せ実施)	※平成31年度の実施を予定			【協議会】 地域医療課
②看取りの実態の把握	死亡小票分析の実施 1回/1年	平成28年1月～平成29年12月に死亡した練馬区民を対象に分析を行った。 ・分析対象数：平成28年分5,735件、平成29年分5,999件	<ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り数、看取り率の増加割合 在宅見取り数：549件 在宅見取り率：9.2%（前年比0.6ポイント減少） 在宅看取り医療機関数：100機関 区内在宅見取り医療機関数65機関 区内医療機関在宅見取り数354件 区内医療機関在宅看取り率：5.9% 		【協議会】 地域医療課